

科目名	解剖生理学Ⅳ		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		1年次	後期	30時間	1単位
科目設定理由	最近の医学と医療技術は急速に進化・発展し、社会とのかかわりはきわめて密接になり、医療に対する期待とニーズも大きくなってきている。解剖学と生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、看護師を含む医療専門職の教育においては最も重要な基盤（基礎）となるものである。そこで、個人の健康にかかわる人体についての知識や理解を深め、解剖学と生理学を融合させて人体の構造と機能を学習し、看護実践に活かすために当該科目を設定した。					
学習目標	人体の発生と構成する単位(消化器系、免疫、生殖器系)を学び、人体の構造を理解する					
授 業 計 画						
回数	項目	内容			備考	
1～4	6章 内臓機能の調節	1 痛覚と高次機能			講義	
	9章 外部環境からの防御	1 生体防御機構（皮膚）				
		2 生体防御機構（免疫）				
5～11	2章 栄養の消化と吸収	1 消化器系の構造と機能(中空器官)			講義	
		2 消化器系の構造と機能(実質器官)				
		3 門脈系・腹膜				
12～14	10章 生殖・発生と老化のしくみ	1 生殖器系の構造と機能			講義	
		2 受精から出産まで				
		3 成長と老化				
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学		坂井 建雄 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[2] 病態生理学		土居 健太郎		医学書院	
参考図書・資料等	新版 体の地図帳		佐藤 達夫		講談社	
評価方法	筆記試験等から総合的に判断する					